

1 題材名 生活を支える物やお金

2 本題材に込めた教師の願い

(1)本題材に至るまでの児童の学びに関する気付き

(2)題材の概要と題材のよさ(学習指導要領との関わり)

本題材は、学習指導要領「C 消費生活・環境 (1)物や金銭の使い方と買物」を受けて設定している。生活を営む上で商品やサービスの購入は欠かすことができないものである。現代社会では、これらの商品やサービスがあふれ、販売形態や決済手段も多様化している。そのため、一人一人が生涯にわたって健康で豊かな生活を送るためには、その中から自分にとって適切な物や購入方法を選択したり、正しい情報を見極めたりできるようにすることが大切である。

成年年齢の引下げにより、これまで以上に小学校段階からの切れ目のない消費者教育が求められている。児童が、限りある物や金銭の大切さや環境に配慮した物の使い方を実感を伴って理解し、身近な物の選び方や買い方に係る技能を身に付け、実生活に生かしていくことができるよう、本題材では、現金による店頭での購入場面を想定し、自分や家族に身近な物をよく吟味して選ぶ模擬購入の活動を2回設定する。購入の際に、価格、量、機能、品質、デザイン、環境など、様々な視点から適切に情報を収集・整理して自己決定をする学習を家庭科の授業の中で繰り返すことが、これからの時代を生きていく自立した消費者の育成につながると考える。

児童にとって経験のある、現金による店頭での買物場面を扱うことで、買う人(消費者)の申し出と売る人の承諾によって日常行っている買物が、売買契約であることを体験的に理解することができる。また、購入する商品を変えて模擬購入を2回行い、身近な物の選び方や買い方を考えることや、情報を収集・整理することを繰り返すことで、これらに関わる知識や技能を身に付けられるとともに、1回目の模擬購入した結果を振り返って改善点を考えたり、それを次の模擬購入に生かしたりすることができる。

1回目の模擬購入では、自分が使うペンケースを購入する場面を設定する。ペンケースは、全員が毎日使う物であることから、実際の生活場面での活用を想定した物の選び方や買い方を考えることができる。2回目の模擬購入では、家族が使うトイレットペーパーを購入する場面を設定することで、自分だけでなく家族の生活とも結び付けて考えようとする意欲を高めることができる。さらに、トイレットペーパーは再生不能であるため、環境の視点からも身近な物の選び方や買い方を考えることができる。

3 題材の目標と活動計画及び教師の手立て(全5時間予定)

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			
題材の目標		買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方を理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。	身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。			
学習評価の観点		①買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ②身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり改善したりしている。 ④身近な物の選び方、買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。			
時間	過程	主な学習活動	おおむね満足できる状況にある児童の姿		手立て (間接的指導を含む)		
1	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合っ課題をつかみ、解決するための学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 課題 自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのように買物をしたらよいだろうか。 </div>	知・技	思・判・表	主体態	<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について問題を見いだすことができるよう、事前に児童と保護者それぞれのアンケートを行い、その集計結果を用意する。 	
2	追究する	<ul style="list-style-type: none"> 買物をするときに大切なことを話し合い、買物の仕方を考える。 	①	②	①	<ul style="list-style-type: none"> 売買契約が成立する場面を理解できるよう、店頭での購入場面の役割演技を設定する。 	
3		<ul style="list-style-type: none"> 自分が使うペンケースの模擬購入をする。 	②			②	<ul style="list-style-type: none"> 自分のライフスタイルに合わせた選び方ができるよう、複数の筆箱を用意する。
4		<ul style="list-style-type: none"> 家族が使うトイレットペーパーの模擬購入をする。 	②			③	④
家庭		<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について、意識していることや気を付けていることを家族にインタビューする。 自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり、それを基に実際に購入したりする。 			③	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の状況に応じて取り組む内容を自己決定できるよう、家庭実践の例を複数例示する。 	
5	まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 家族にインタビューした内容や感想、実際に購入したこと等について話し合い、題材全体の振り返りをする。 				<ul style="list-style-type: none"> 物やお金を無駄なく使おうとする意欲をさらに高めることができるよう、話し合う際の観点として「家庭で取り組んだことのよさ」を提示する。 	

4 本時の展開（1時間目/全5時間）

- (1) ねらい 物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合うことを通して、学習課題をつかみ、解決するための学習計画を立てることができる。
- (2) 準備 事前アンケートの結果（児童用・保護者用）
- (3) 展開

	視点1（5分） めあてを関心や期待、必要感をもって理解したか。	視点2（15分） 問題解決の見通しや期待感をもって活動に取り組もうとしているか。	視点3（10分） グループやクラス全体の対話を通して協働し課題解決をしているか。	視点4（10分） めあてと整合性のあるまとめたどりつけたか。	視点5（5分） この時間の学びが自分にとって意味や価値があったと自覚しているか。
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果をもとに、物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について話し合い、問題を見いだす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見いだした問題をもとに、課題を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。
発話	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は何する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果のどこを見てそう思ったの。 ・どうしてそうになりたいの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どういう使い方や選び方、買い方ができればいいの。 ・この題材の課題はどうする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この課題をどうやって解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの時間は振り返りをしましょう。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習に入るときは、いつも学習課題を立てるから、今日もみんなで話し合っって学習計画を立てよう。 ・学習計画が立ったら、それを解決するための計画もみんなで決めているよね。 ・これまでは、見本を観察したり試食をしたりして話し合ったよね。 ・今日は、この前取ったアンケートの結果を見ながらみんなで話し合ったらどうだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて アンケートの結果をもとに話し合っって課題をつかみ、解決するための学習計画を立てよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのアンケート結果を見ると、「買ってしまっってから家に同じ物があることに気付いた」や、「お店で見たときは欲しいと思って買ったけど、その後はほとんど使っていない」という失敗を答えている人が、自分のほかにもいるな。 ・家の人のアンケートでは、「買った物が別のお店でもっと安く売っていた」という経験も書かれているよ。 ・みんなが言うように、アンケートに書かれている失敗はどれもありがちだから、防げるといいよね。 ・買い物に失敗するとお金も物も無駄にしてしまうから、失敗しない買い方をできるようにしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長く大切に使う物を選んだり買ったりとできるといいのかな。 ・でも、買う物には、長く使う物とそうでないものもあるよ。 ・自分だけが使う物なら、自分の好みで選べるけど、家族が使う物だったら、自分一人の好みでは決められないよね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのように買い物したらよいだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おおむね満足できる状況にある児童の姿 ・身近な物の選び方、買い方について問題を見い出して課題を設定している。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの製作や調理の学習では、練習→本番→家庭実践→振り返りの順で学習してきたから、同じように考えればいいのではないかな。 ・練習は買物のシミュレーションをすればいいよね。 ・本番は実際に買物をすればいいのではないかな。 ・でも、それって家庭実践になるよね。 ・じゃあ、自分が使う物と家族が使う物で買物のシミュレーションを2回することにして、1回目を練習、2回目を本番としてはどうかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の学習では、これまでの学習よりも、練習と本番の学習内容を考えるのが難しかったな。 ・それでも、みんなと話し合うことで、学習課題と課題を解決するための学習計画を自分たちで決めることができたよ。 ・物やお金だけでなく、時間も無駄にしないような買い方ができるように、これからも友達と一緒に考えていきたい。 ・家の人のアンケートもあったから、そこから気付けた買い物の失敗もあった。物の選び方や買い方を家族はどうしているか、インタビューしてみるのもいいと思った。
教師の手立て関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の問題解決的な過程を意識して学習に取り組めるように、題材の導入である1時間目に行う活動と本時のゴールを問いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見い出して課題を設定すると、問題を見い出して課題を設定する目的意識をもつことができるように、児童と保護者それぞれに事前に行ったアンケートの集計結果を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見いだした問題を共有し、自分たちが追究していく課題を検討できるように、児童の意見を整理して板書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが立てた課題を解決するための学習計画を決めることができるように、これまでの学習で課題を解決してきた経験や具体的に行ってきた活動を想起するよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学び方が身に付いていることを実感できるように、生活の中から問題を見い出して課題を立てることができたことや、課題を解決するための学習計画を決められたことを称賛する。